

いもち病（葉いもち）情報第2号

平成26年7月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

水稻いもち発生予測システム（BLASTAM）による6月30日までの葉いもち感染好適日の推定結果（表）によれば、6月19日、22日に県内の広い地域で感染好適日（●印）が出現しました。

6月下旬の巡回調査では葉いもちの発生を認めませんでした。しかし、いもち病菌の胞子がイネ葉上にあれば、感染好適条件が満たされた日から7日前後で病斑が形成され、10日から2週間で目立つようになります。そのため、平年並の7月上旬には県内各地で発生が確認されると予測します。

7月1日名古屋地方气象台発表の週間天気予報によれば、向こう一週間は、2日は高気圧に覆われて晴れますが、その後は梅雨前線や低気圧の影響で雲が広がりやすく、期間の前半は雨の降る日があると予測されています。本田の発生状況に注意し、多発が予測される場合は適切に防除しましょう。

表 水稻いもち発生予測システムによる葉いもち感染好適日の推定結果
（6月17日～6月30日）

日付	尾 張				西三河		東三河			中山間	
	愛西	名古屋	大府	南知多	豊田	岡崎	蒲郡	伊良湖	豊橋	新城	稲武
6/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/19	●	●	●	●	●	●	●	●	—	④	④
6/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/22	④	④	●	●	●	●	●	●	●	●	①
6/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/26	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/28	7	—	6	2	5	—	—	—	—	—	4
6/29	5	2	—	7	—	6	6	1	2	5	3
6/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

●：好適条件（湿潤時間が長く気温も適当で、いもち病発生の好適条件が現れた）

④：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が比較的低温、その平均気温に必要な湿潤時間より短い）

③：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃の範囲外）

②：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上）

①：準好適条件（湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満）

数値：湿潤時間が10時間未満の場合の湿潤時間数

—：好適条件なし（いもち病発生の好適条件が現れなかった）